

札幌商工会議所 商業・金融部会

令和8年度 事業計画

(令和8年4月1日～令和9年3月31日)

(1) 国・北海道への要望提出

当部会からの要望事項を取り纏め、全道商工会議所大会（令和8年7月 稚内市）を通じて、国・道への要望提出を行う。

(2) 関係機関への要望活動及び意見交換

業界の課題解決や中小企業の振興策などについて、部会における要望事項を取り纏め、必要に応じて、所管官庁・自治体と業界振興策等について意見交換を行う。

【意見聴取】

対 象：正副部会長・正副分科会長・議員・部会常任委員 等

期 間：令和8年2月18日（水）～3月6日（金）

(1) 地域・商店街活性化事業

地域や商店街の集客力向上、消費の促進および地域価値の向上を目的として、イベントの実施・支援や、情報発信等の取組を行う。

①札幌ぷらっとウォーク+の実施

内 容

Webを活用したデジタルスタンプラリーにより、商店街をはじめとした地域の店舗を訪れる機会を創出する。また、複数箇所を実施することで各エリアへの周遊を促す仕組みとする。今回からは従来のLINEを活用したシステムからWebシステムへ変更し、当事業をモデルケースとして他の商店街でも気軽に導入できる仕組みとした「札幌ぷらっとウォーク+」として実施し、イベントのDX化と商店街活性化につなげる。

②商店街主催イベントの支援

③札幌市商業近代化推進協議会の運営



(2) 花き業界PR支援事業

花き業界の振興を目的に、イベントへの参画や情報発信を通じて、花の消費拡大および市民が花に触れる機会を創出し、花き業界の普及促進を図る。

①「花フェスタ2026」への参画

日時	令和8年6月下旬
場所	大通公園5丁目 花フェスタ2026 札幌商工会議所ブース
内容	①各種制作体験 ②会員企業による花関連商品の販売



②花き業界の魅力発信

(3) 職人技PR支援事業

職人の地位向上および職人技の価値発信を目的に、一般市民向けに職人技の魅力を分かりやすく発信する取組を行う。

① SNSを活用した職人技の発信

発信媒体	Instagram、TikTok、YouTube
内 容	各種SNSで職人が実際に作業する様子を短時間の動画で発信することで、作業風景や技術の一端を可視化し、職人技の魅力発信と理解促進、イメージ向上を図る。

KPI 【SNSフォロワー数：10,000人】

② 会議所媒体等を活用した情報発信



(4) 我が社の商品売り込み市

道内外の大手スーパー・百貨店・ホテル等のバイヤーを招聘し、札幌及び道内の中小製造業者が自社製品を売り込む、事前マッチング方式の商談会を開催する。

日 程	令和8年9月29日(火)
場 所	ニューオータニイン札幌

※令和8年度は、東京商工会議所・名古屋商工会議所・京都商工会議所と連携を図り、道内バイヤーに加え、関東（首都圏）・中部・近畿の道外バイヤーを招聘する。

KPI【商談成約・見込み件数：100件】



(5) 金融教育・資産形成推進事業

企業および市民を対象に、金融リテラシーの向上や資産形成に関する理解促進を図るとともに、中長期的な視点での経営力強化に繋げることを目的として実施する。

①資産形成セミナーの開催

内 容	金融リテラシーの向上を目的として、専門家による金融教育や家計管理・資産形成に関するセミナーを開催する。
-----	---

KPI【セミナー後、自社の社内研修等に繋がった件数8件】

②道新資産運用フェアへの出展支援

内 容	会員企業の資産形成に関する情報発信機会の拡充を図るため、道新資産運用フェアへの出展支援を行う。
-----	---

③金融教育の実施

内 容	専門家による金融教育を実施し、税やお金の役割、社会との関わりについて学び、理解を深める機会を提供する。
-----	---

KPI【事業終了後も、継続的に関心を示した学生数：30名以上】

地域産業連携・交流事業

新規事業

他地域への視察や部会内の交流事業を通じて、企業・業界を取り巻く課題や先進的な取組について情報共有を行い、会員企業の経営力向上および部会活動の活性化を図る。

①他地域施設・団体等への視察・意見交換

内 容

他地域施設・団体等との交流・意見交換や企業視察を通じて、企業・業界が抱える課題や先進事例を共有し、自地域で活かせる知見の獲得を図る。

②部会内交流事業

内 容

統合された部会として、部会員相互の情報交換や親睦を深める場を設け、各分野の最新動向や共通課題に関する理解を深める。

(1) 諸会議（正副部会長会議、部会連携会議等）

事業計画の策定や要望事項の深化へとつなげるために、正副部会長および正副分科会長等による会議を適宜開催し、部会の円滑な運営について協議する。また、諸課題の共有と業界振興を図るために、部会間の垣根を超えた連携や委員会との横断的な意見交換の場を設ける。

(2) 業界課題・要望等の調査

業界の課題や要望を把握するために、所属部会員へのアンケート調査等を行う。

(3) 部会親睦・交流

業界課題の共有と解決、技術の連携および業界内での親睦を図るために、所属部会間のみならず、他部会・分科会を含めた交流・意見交換を実施する。

(4) 情報提供（部会ニュースの発信等）

(5) 人材確保・育成支援

企業の人材確保や人材育成、活躍を支援するために、人手不足の課題を抱える中小企業に対して、女性、高齢者、外国人材、障がい者等、多様な人材の採用に向けた情報提供・情報交換の場を提供する。

(6) DX(デジタルトランスフォーメーション)の促進

業務効率化や生産性の向上を図るために、セミナー等による情報提供や専門家を通じた個社支援を行い、中小企業のデジタル化・DXを推進する。

(7) 会員新春交歓会の実施